

和歌山

あなたと

県

をつなぐ広報紙

県民の友

2月号

No.954
平成30年[2018]

県政最前線

攻めの 農林水産業を支える 試験研究

カンキツ新品種の育成に取り組む研究員(果樹試験場)

攻めの農林水産業を支える

試験研究

のうりんすいさんぎょう
しけんけんきゅう

ささ

けんちようのうりんすいさんぎょうけんきゅうしんしつ
問 県庁農林水産総務課研究推進室
☎ 073-441-2995

和歌山県の農林水産業は、地域経済や雇用を支える重要な産業であるとともに、豊かな自然を守る重要な役割を担っています。

しかし、農林水産物の価格の低迷、担い手の減少・高齢化、耕作放棄地の増加、森林整備の遅れ、水産資源の減少など、さまざまな課題があります。

このような状況のなか、県内各地にある9つの農林水産関係の試験研究機関では、地域特性を活かした試験研究や、産地の競争力を強化する新品種や新技術の開発に取り組んでいます。そして、新たな技術は普及活動を通じ、速やかに生産現場で実用化し、農林漁業に従事される方が仕事に魅力を感じ、将来に夢と希望がもてる「収益性の高い農林水産業」の実現をめざします。

県試験場・研究所と 主な研究内容



農業試験場 暖地園芸センター(御坊市)

花き・野菜の新品種育成や
低コスト・安定多収技術開発など

- スターチス・エンドウの新品種育成
- ミニトマトの高品質多収生産技術開発



農業試験場 (紀の川市)

野菜・花き・水稻の新品種育成・栽培、病虫害防除および
土壌管理に関する技術の開発など

- イチゴの新品種育成
- 水田転換畑を利用した種ショウガ生産技術の開発
- スプレーグクの新品種育成、開花調節技術の開発



畜産試験場 (すさみ町)

熊野牛の改良・増殖・生産技術の確立、
ブタ・イノブタの飼育管理技術開発など

- 熊野牛受精卵のフィールド採取・凍結技術の開発
- 「赤身が旨い熊野牛」生産技術開発
- 霜降り豚肉、イノブタ肉のエコフィードによる高品質安定生産技術の開発



畜産試験場 養鶏研究所 (日高川町)

ニワトリのオリジナル品種育成、高品質化、
生産環境改善技術の開発など

- 紀州龍神地鶏開発プロジェクト
- ウメ種子活用による養鶏臭気対策



林業試験場(上富田町)

森林の育成・保護、苗木生産技術、
紀州材の利用・加工技術、特用林産物の
安定生産技術の開発など

- スギ花粉症対策品種の開発
- 森林におけるシカ誘導捕獲技術の開発
- 紀州材構造用床パネルの開発



水産試験場(串本町)

水産資源・海洋環境に関する情報
発信、養殖・栽培漁業・漁場環境保全・
内水面漁業に関する技術開発など

- カツオ、イサキ、マルアジ等の資源・移動・回遊に関する研究
- ヒジキ等の海藻類の増養殖と魚類による食害対策の技術開発
- アユ、ウナギ資源に関する調査研究



果樹試験場うめ研究所(みなべ町)

ウメの高品質安定生産、新品種育成、
エコ農業の推進など

- 機能性成分の多い品種や、温暖化にも対応した病気に強い品種育成
- 安定生産のための施肥・枝梢管理・病虫害防除技術の開発



果樹試験場かき・もも研究所(紀の川市)

カキ・モモの高品質果実安定生産、軽労・省力化、
新品種育成、病虫害防除技術の開発など

- カキの新品種育成
- モモの果肉障害対策技術開発



果樹試験場 (有田川町)

カンキツ類の新品種育成や
高品質安定生産、土壌管理、病虫害防除や
獣害防止対策の技術開発など

- カンキツの新品種育成
- 温州ミカン「YN26」や「きゅうぎ」の適正な栽培技術の確立
- イノシシ等害獣捕獲技術の開発



果樹試験場栽培部
田嶋 皓 主査研究員

カンキツ類は、苗を植えてから果実ができるまで時間がかかります。将来の需要や生産農家の状況を想定し、研究を進めなければなりません。生産者が新品種に求める性質は、時代によって変化しますが、今まで以上に作りやすく、味の良いものが望まれています。これからも生産者の所得向上をめざし、栽培のしやすさや加工品への活用なども重視しながら、新品種の育成に努めていきたいです。

ミカンの新品種と機能性に
着目したカンキツ育種

果樹試験場では、収穫時期の異なるオリジナル品種を切れめなく出荷する「温州ミカンのシリーズ出荷」の実現に向け、和歌山の風土に適し、品質の良い果実を安定して収穫できる新品種の開発に取り組んでいます。平成24年に品種登録された「YN26」は、9月中下旬と極めて早い時期に成熟を迎えます。また、平成26年に品種登録された「きゅうき」は、浮皮が少なく品質が良いことから市場での高評価が期待されており、「YN26」とともに徐々に産地化が進んでいます。さらには、健康維持や病気予防に良いとされる成分を含む北山村特産「ジャバラ」に着目し、「ジャバラ」を親とした付加価値の高い新品種の育成にも取り組んでいます。



イチゴ新品種の栽培見学会

未来につながる

しんひんしゅ

しんぎじゅつ

かいはつ

新品種・新技術の開発

県では、生産現場のニーズを的確に反映し、生産者の所得向上や地域の活性化につながる新品種・新技術の開発を加速させるため、農林水産関係者などから研究テーマを募集し、外部の専門家の意見をもとに実施する研究を決定する「農林水産業競争力アップ技術開発事業」を平成24年から創設し、試験研究に取り組んでいます。

今回は、将来を見据えた新品種の育成や生産性向上の新技術を開発する注目の試験研究と、開発した新品種・新技術の普及をはじめ、経営強化のための加工品の開発など、実用化・商品化に向けた取組を紹介します。

イチゴオリジナル品種の開発

大粒で贈答用にも使われる「まりひめ」は、農業試験場で開発されたもので、今では、ブランドの地位を確立し、県内外で人気のある品種です。また、イチゴ栽培の大敵である炭そ病に強く、より生産しやすい品種の開発を進め、「紀の香」を開発しました。新品種は、「まりひめ」と同程度の糖度

があり、酸味もほどよいのが特徴で、11月中旬と早くから収穫できる優れた特性は、市場において、高い競争力を有しています。現在、場内での栽培試験と、県内農家で試作を行っており、今後の普及が期待されます。



和歌山県いちご生産組合連合会 会長 松本 智行さん

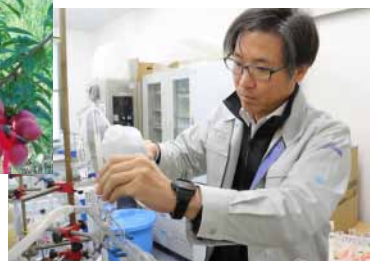


和歌山オリジナルイチゴ「まりひめ」は、ジューシーで甘くておいしいと首都圏などの市場から高い評価をいただき、高値で取引されており、さらなる販売の拡大が期待されます。高品質なイチゴを安定して出荷するためにも、試験場における収量の増加や品質向上に向けた試験研究・新品種の開発に協力し、和歌山と言えば「イチゴ」と言ってもらえるようにがんばってまいります。

ウメ新品種「露茜」の安定生産技術の確立と
加工品開発

つゆあかね

近年、色や香りに特徴のあるウメの新品種が誕生していますが、「露茜」は果肉が赤色という特徴があり、新たな商材として食品メーカーからも注目されています。うめ研究所では、主要品種「南高」とは樹の性質が異なる「露茜」に合った栽培方法を開発し、管理方法を解説したマニュアルを作成して産地化を進めるとともに、収穫後に果実を赤く色づかせる特許技術の開発により、安定的な供給体制を確立しました。さらに県内企業や県工業技術センターと協働で開発した赤色梅シロップは、消費者から好評を得ています。引き続き、産地形成や加工品開発につながる研究を進め、安定生産と消費拡大につなげていきます。



カキオリジナル品種「紀州てまり」の開発

かき・もも研究所では、平成20年に赤みが鮮やかな早生の「早秋」と大きくて食味のよい「太秋」を交配し、約9年の試験研究を経て、10月中下旬と早くから収穫でき、おいしくて色鮮やかなオリジナル品種「紀州てまり」を開発しました。県内で出荷されるカキの8割近くが渋柿ですが、新品種は収穫後に脱渋の必要がない完全甘柿です。



昨年、カキのアメリカ向け輸出解禁となり、和歌山県産のカキが国内で初めて出荷されました。新品種の市場への本格的な出荷は、5年後の秋を予定していますが、本県の新ブランドとしての地位を確立することができるよう、さらなる研究を進めています。



(株)オリジナルフィッシャリーズ
代表取締役 東 剛久さん(写真左)
双日ツナファーム八勝(株)
専務取締役 楠 誠司さん(写真右)

オリジナルフィッシャリーズではスマ稚魚の生産を行っています。現在、水産試験場などと協力し、稚魚を安定供給する技術の開発・確立に取り組んでいます。

双日ツナファーム八勝ではスマの稚魚から成魚までの養殖と販売を行っています。これまでの研究成果や技術・経験をもとに出荷数を増やしていくとともに、首都圏も視野に入れた販売活動を展開し、本格的な事業化をめざしています。

おいしいスマを一日も早く県内、そして全国の食卓にお届けしたいです。



農業試験場・暖地園芸センター

日時:2月15日(木) 13:00~16:30
場所:農業試験場(紀の川市)
問:農業試験場 ☎0736-64-2300

試験研究機関の研究成果発表会

農林水産業競争力アップ技術開発事業などの研究成果を広く知っていただくため、成果発表会を開催します。多くの方のご参加をお待ちしています。

果樹試験場

日時:2月20日(火) 13:30~16:00
場所:果樹試験場(有田川町)
問:果樹試験場 ☎0737-52-4320

同日開催 10:00~16:00

ミカンとふれあいデー

栽培方法など初心者向けの講座や相談、場内見学、新品種の試食などを行います。

林業試験場

日時:2月14日(水) 13:30~16:00
場所:上富田町文化会館
問:林業試験場 ☎0739-47-2468

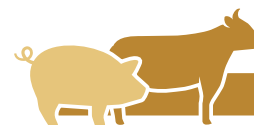
水産試験場

日時:2月15日(木) 13:00~16:00
場所:紀南文化会館(田辺市)
問:水産試験場 ☎0735-62-0940

※事前申込みは必要ありません。当日、直接会場へお越しください。

幻の高級魚「スマ」の養殖技術開発

水産試験場では、日本ではほとんど漁獲されない、全身トロで大変おいしい幻の高級魚と言われる「スマ」の養殖技術開発に、産学官が連携して取り組んでいます。平成25年夏には稚魚の量産に成功し、平成28年秋には人工的にふ化させて育てたスマ親魚から産まれた完全養殖のスマが、世界で初めて出荷されました。この研究によって、天然の稚魚を使用しないスマ養殖が可能となり、本県養殖業の振興につながることを期待されています。現在は、コスト削減などの技術開発に取り組み、スマ養殖の普及をめざしています。



(株)アグリズム熊野
代表取締役 前田 茂光さん



霜降り豚肉は、県内のスーパーや和歌山市内のレストランなどで人気がありますが、まだまだ生産・流通量が少ないのが現状です。

ブランドを構築するためには、市場ニーズに応えるだけの安定した供給体制の整備が必要であり、畜舎の増築や自社繁殖に向けて準備を進めています。県内のブタの飼育数は全国で最も少ないですが、和歌山にもおいしい豚肉があることを知っていただけたとうれしいです。



エコフィード



では、産学官連携のもと、食品製造副産物を飼料としたエコフィードを用いて、安価でブタの発育を悪化させない霜降り豚肉生産技術の開発に取り組み、効率的な生産技術開発とその実用化に成功しました。現在、さらに豚肉のおいしさ向上のため、技術の改良に取り組んでいます。

エコフィードを与えた豚肉



市販の配合飼料を与えた豚肉



開発したエコフィードを与えることによってロース肉は霜降り豚肉になっている。

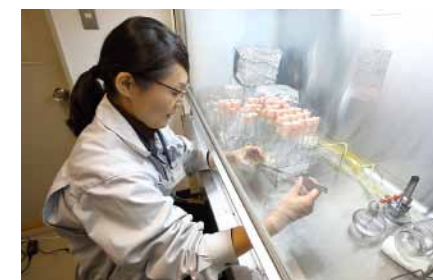
霜降り豚肉の安定生産技術の開発

筋肉内脂肪が多い豚肉「霜降り豚肉」は、やわらかくジューシーであることから高値で取引されます。しかし、これまでの技術では、飼料の成分調整により霜降り豚肉を生産しようとすると、ブタの発育が悪化したり、赤身の肉量が減少したりすることから、実用的ではありませんでした。畜産試験場では、産学官連携のもと、食品製造副産物を飼料としたエコフィードを用いて、安価でブタの発育を悪化させない霜降り豚肉生産技術の開発に取り組み、効率的な生産技術開発とその実用化に成功しました。現在、さらに豚肉のおいしさ向上のため、技術の改良に取り組んでいます。



新たな商品開発で

イタドリを稼げる山菜に



イタドリは、「ごんぱち」や「すかんぽ」と呼ばれ、本県の山間地域で広く食されている郷土山菜ですが、近年、シカの被害などで採取が減少していました。林業試験場では、栽培技術を開発し、研修会の開催やマニュアルを作成するなどして普及に取り組んだ結果、栽培に取り組む地域が増えてきています。現在は、栽培・加工に向く優良な株の選抜や増殖技術の開発を行うとともに、

日高川町生活研究グループ
イタドリ部会の皆さん



イタドリ(通称ごんぱち)の若芽を使った町名産「ごんちゃん(漬け物)」の原材料を確保するため、平成25年に遊休農地を利用して始めた栽培は、試験場の協力のおかげで軌道に乗っており、年々栽培面積を増やしています。

そして、「ごんちゃん」に続く、花や葉、皮など、これまで捨てていた部分を活用した新商品を開発することで、生産・消費拡大につなげ、地域を元気にしていきたいです。



ビジネスプランコンテスト ひょうしょうしき プレゼンテーション・表彰式

時:2月24日(土)13:30～18:30
場:プラザホープ(和歌山市)
対:創業を考えている方、創業して間もない方など
定:100人 **先着順**
費:交流会は1,000円
申・問:郵送、FAX、Eメール、インターネットで所定の申込書(申込先、WEBサイトで配布)を2月20日までに「創業支援セミナー inわかやま」事務局
 〒640-8033和歌山市本町2-1
 フォルテワジマ6階
☎073-432-3412 FAX073-432-3314
✉sogyo@yarukiouendan.jp
🔍わかやま産業振興財団 **🔍**

ゴミ たいかい スポGOMI大会 さんか ぼしゅう 参加チーム募集

制限時間内に決められたエリア内でゴミを拾い、質と量でポイントを競う
時:①3月10日②24日
 いずれも土曜
 9:30～12:00
場:①東牟婁振興局周辺(新宮市)
 ②湯浅伝統的建造物群保存地区周辺(湯浅町)
定:各20組100人 **先着順**
申・問:郵送、FAX、Eメールで所定の申込書(申込先、WEBサイト、有田・東牟婁振興局で配布)を2月23日までに県庁県民生活課
 FAX073-433-1771
✉e0313001@pref.wakayama.lg.jp
🔍 **WEB**



なんきくまの 南紀熊野ジオパークフェスタ

各種活動紹介や地元産品販売ブースなど、楽しみながらジオパークを知るイベント
時:2月17日(土)10:00～15:30
場:那智勝浦町体育文化会館
問:県庁自然環境室
🔍南紀熊野ジオパーク **🔍**



おと もり 音の杜コンサート

和歌山県新人演奏会出演者によるコンサート
時:2月25日(日)14:00～
場:県民文化会館(和歌山市)
定:328人
費:一般1,000円、高校生以下500円
申・問:電話、インターネットで会場
 〒640-8269和歌山市小松原通1-1
☎073-436-1331
 ※各プレイガイドでも発売
🔍和歌山県民文化会館 **🔍**
 ※一時保育(有料)希望者は公演8日前までに要予約。未就学児は入場不可

ちいきねこたいさく 地域猫対策セミナー

時:①3月10日(土)13:30～16:00
 ②3月11日(日)10:00～12:30
場:①湯浅保健所
 ②東牟婁振興局(新宮市)
対:地域猫対策を行っているボランティアの方・殺処分ゼロに向けた取り組みに興味のある方
定:各50人 **先着順**
問:県庁食品・生活衛生課 **WEB**

かしょう げんちせつめいかい クマノザクラ(仮称)現地説明会

新種の可能性がある「クマノザクラ(仮称)」に関する説明・標本木観察
時:3月18日(日)10:00～14:00
場:古座川町保健福祉センター
対・定:小学生以上(小学生は保護者同伴)60人 **先着順**
申・問:郵送、FAX、Eメールで住所、氏名、電話番号、性別、生年月日を2月28日までに県庁自然環境室
 FAX073-433-3590
✉e0320004@pref.wakayama.lg.jp
🔍 **WEB**

わかやま てん 和歌山かがやき展

盲・ろう・支援学校と小・中学校の特別支援学級の児童生徒作品展
時:2月14～19日10:00～17:00
 ※14日は11:00から
 19日は12:00まで
場:県民文化会館(和歌山市)
問:県立和歌山さくら支援学校
☎073-453-0303

かた あ ひろば 語り合い広場

～メディア・リテラシー入門～

CMやネットを題材に男女共同参画の視点で情報を読み解く講座
時:2月25日(日)13:30～15:30
場:*県男女共同参画センター(和歌山市)
定:30人 **先着順**
申・問:郵送、電話、FAX、Eメール、インターネット、来所で住所、氏名、電話番号を(一時保育希望者は2月15日までに)会場
 〒640-8319和歌山市手平2-1-2
 和歌山ビッグ愛9階
☎073-435-5245 FAX073-435-5247
✉libre@sirius.ocn.ne.jp
🔍 **WEB**

しょうひしゃきょういく 消費者教育フォーラム

時:3月11日(日)13:30～16:00
場:プラザホープ(和歌山市)
定:200人 **先着順**
申・問:郵送、FAX、Eメールで所定の申込書(申込先、WEBサイト、各振興局総務県民課で配布)を2月16日までに県庁県民生活課 **WEB**
 ※一時保育、手話通訳は要予約

くまのこうどう きいじ 熊野古道紀伊路ウォーキング

時:3月25日(日)
場:春の道成寺コース(御坊市・日高町・日高川町)
対:中学生以下は保護者同伴
定:50人 **先着順**
費:500円(保険料など)
申・問:FAXで所定の申込書(申込先、WEBサイトで配布)を日高広域観光振興協議会(日高振興局企画産業課内) FAX0738-24-3312 **WEB**

み み 見えない・見えにくい方 のための「交流サロン」

時:2月17日(土)13:30～15:30
場:*県点字図書館(和歌山市)
対:見えない・見えにくい方とその家族、ボランティア
申・問:郵送、電話、FAX、Eメールで住所、氏名、年齢、電話番号を会場
 〒640-8319和歌山市手平2-1-2
 和歌山ビッグ愛5階
☎073-488-5721 FAX073-488-5731
✉wakaten@wakaten.jp
🔍和歌山県点字図書館 **🔍**

しょうがいしゃふくし 障害者福祉バス(4～9月)

在宅障害者の社会参加を促進するための障害者福祉バスの利用申込
対:障害者とその介護者を合わせた人数が10人以上の障害者の団体
定:20回分 **抽選**
申・問:郵送、FAX、Eメールで所定の申込書(申込先、WEBサイトで配布)を2月28日までに県子ども・女性・障害者相談センター
 〒641-0014和歌山市毛見1437-218
☎073-445-5311 FAX073-446-0036
✉e0404021@pref.wakayama.lg.jp
🔍 **WEB**

ユーアイ しゅうのうそうだん Uターン就農相談フェア

県内での新規就農や農業法人などへ就職を希望する方のための相談会
 ①和歌山市会場(先輩就農者体験発表有)
時:2月25日(日)10:00～15:00
場:和歌山ビッグ愛(和歌山市)
 ②御坊市会場(農業体験・現地視察有)
時:3月11日(日)10:00～15:00
場:県就農支援センター(御坊市)
定:②の体験・視察は10人 **先着順**
 ①②共通
申・問:郵送、FAX、Eメールで所定の申込書(申込先、WEBサイトで配布)を②の体験・視察希望者のみ2月23日までに県就農支援センター
 〒644-0024御坊市塩屋町南塩屋724
☎0738-23-3488 FAX0738-23-3489
✉e0716011@pref.wakayama.lg.jp
🔍 **WEB**

おしらせ



参加者募集・イベント案内など

県庁・県教育庁

☎073-432-4111(代表)
 〒640-8585 ○○○課あて
 (県庁の住所記入不要)
 和歌山県のWEBサイトは
http://www.pref.wakayama.lg.jp/

各振興局代表電話

海 草	県庁代表と同じ
健康福祉部	☎073-482-0600
建設部	☎073-423-3281
那 賀	☎0736-63-0100
伊 都	☎0736-34-1700
健康福祉部	☎0736-42-3210
有 田	☎0737-63-4111
日 高	☎0738-22-3111
健康福祉部	☎0738-22-3481
西牟婁	☎0739-22-1200
東牟婁	☎0735-22-8551
健康福祉部	☎0735-72-0525
串 本 支 所	☎0735-72-0525
串本建設部	☎0735-62-0755

時…期日・時間 **場**…場所・会場
対…対象・資格 **定**…定員 **費**…費用
申…申込・応募方法 **問**…問合せ
✉…Eメール **WEB**…県ウェブサイトで掲載
🔍…ウェブサイトを検索
 *は県庁の敷地内にはありません

しょうく あんぜん 食の安全シンポジウム

テーマ:知ろう、学ぼう、食物アレルギー
時:3月1日(木)14:00～16:00
場:情報交流センター Big・U(田辺市)
定:80人 **先着順**
申・問:郵送、電話、FAX、Eメールで氏名、電話番号を2月26日(一時保育・手話通訳・要約筆記は2月13日)までに県庁食品・生活衛生課
 FAX073-432-1952
✉e0316001@pref.wakayama.lg.jp
🔍 **WEB**



自然の中で心はくくむ 体験がいっぱい! せいしやうねん いえ 青少年の家

**きほく せいしやうねん いえ
紀北青少年の家**
 〒649-7112 かつらぎ町中飯降1317-3
☎0736-22-5530 FAX0736-22-5531

おやこ にゅうもん 親子キャンプ入門

キャンプについて学び、活動を通じて参加者同士の親睦を深める
時:3月10日(土)～11日(日)1泊2日
対・定:親子 10組40人 **先着順**
費:1人 4,000円/人
申:2月24日まで

※申し込みには、参加者全員の住所、氏名、年齢(学年)、電話番号などが必要です。
 Eメール、FAXで申し込まれた場合は電話で確認してください。詳しくは各施設へ
〇〇青少年の家 **🔍**

しらさき せいしやうねん いえ 白崎青少年の家

〒649-1123 由良町大引961-1
☎0738-65-2351 FAX0738-65-2352

しらさき きやうしつ 白崎ヨガ教室

時:3月4日(日)13:30～15:30
対:高校生以上
定・費:15人 **先着順** 1,000円
申:2月17日まで

しょうがくせい そつぎやうりょこう 小学生だって卒業旅行

野外炊飯、野外活動、メモリアルクラフトなど
時:3月10日(土)～11日(日)1泊2日
対:小学6年生2人以上のグループ
定:40人 **先着順**
費:4,000円～4,820円/人
申:2月24日まで

しおのみさせいしやうねん いえ 潮岬青少年の家

〒649-3502 串本町潮岬669
☎0735-62-6045 FAX0735-62-0182

はるまつ おもしろらんど「春祭り」

地域住民の方と春祭りを開催。クラフト教室やフリーマーケットなど
時:2月25日(日)10:00～16:00

へいせいねんど
平成29年度
わかやまけん
和歌山県
ぶんかひょうしょう
文化表彰

文化の向上発展に顕著な功績のある方々を表彰しました。
(50音順・敬称略)

文化賞



さいとう・たかを 劇画家
和歌山市出身、東京都在住

文化功労賞



すぎはら いさお
杉原 治
音楽家
合唱活動
古座川町出身
和歌山市在住



たまい すみお
玉井 済夫
生物研究
環境保全
田辺市出身
田辺市在住

文化奨励賞



かねこ たつお
金子 達雄
化学者
和歌山市出身
石川県在住



たにぐち まさのり
谷口 賢記
チェリスト
スイス・チューリッヒ出身
東京都在住



こさがわこうちまつりほぞんかい
古座川河内祭保存会
民俗芸能
活動拠点：串本町

和歌山県優良県産品
プレミアム和歌山

『プレミアム和歌山』は、“和歌山らしさ”“和歌山ならでは”の視点で審査し、優良な県産品を推奨する制度です。

しらまばたん(猪)

豊かな自然が猪肉に旨みをプラスしており、初めての方でも満足していただける良質でおいしい猪肉です。



ジビエ工房紀州 ☎0738-70-4051

抽選で**10名**様にプレミアム和歌山推奨品「**しらまばたん(400g)**」をプレゼント!

2月20日(火)<消印有効>までに住所、氏名、年齢、電話番号、商品名、県民の友への感想を記入のうえ、ハガキで〒640-8585(住所不要)和歌山県広報課「プレミアム和歌山プレゼント」係へご応募ください。

※皆さんの個人情報は、和歌山県個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。

問：県庁広報課
☎073-441-2032

プレミアム和歌山



じどうしゃほゆうかんけいてつづき
自動車保有関係手続の
ワンストップサービス(OSS)
オーエスエス

自動車を保有する際に必要な多くの手続きがインターネット上で一括して行うことができる「自動車保有関係手続のワンストップサービス(OSS)」が、2月5日から始まります。
詳しくはお問い合わせください。
問：県庁税務課 WEB

くに きょういく
国の教育ローン
にっぽんせいざくきんゆうこうこ
(日本政策金融公庫)

高校・短大・大学などへの入学や在学中に必要な資金に対する公的融資制度
限度額：350万円
利率：年1.76%
(平成29年11月10日現在)
返済期間：15年以内
融資対象の学校と利用できる世帯の年収に要件があります。
詳しくはお問い合わせください。
問：教育ローンコールセンター
☎0570-008656
日本政策金融公庫

バレンタイン
たから はつばい
ジャンボ宝くじ発売

1等・前後賞合わせて、3億円のバレンタインジャンボ・3千万円のバレンタインジャンボミニが同時発売されます。
宝くじの購入はぜひ県内で。
発売期間：2月23日まで
問：県庁財政課 WEB



しほうしょし そうぞくとうき
司法書士による「相続登記は
お済みですか」無料相談
むりょうそうだん

時：2月1～28日10:00～16:00
※土日祝を除く
場：県内各司法書士事務所【予約不要】、県司法書士会館(和歌山市)【要予約】
問：県司法書士会 ☎073-422-0568
和歌山県司法書士会

けんえいじゅうたくいたくかんりにん
県営住宅委託管理人

委託期間：4月1日～平成31年3月31日
委託料：月額17万5千円
対：県営住宅使用料の収納業務などに従事できる方(個人に限る) 選考
定：県住宅供給公社管内
①和歌山市及びその周辺②橋本市、かつらぎ町管内 各1人
申・問：郵送、持参で所定の申込書(問合先で配布)を2月14日までに県庁建築住宅課 WEB

けんちくじゅうたくか し
建築住宅課からのお知らせ

①県木造住宅耐震診断士養成講習会
時：2月21日(水)
場：県民文化会館(和歌山市)
対：県内在住・在勤の建築士など
定：50人程度 先着順
②県被災建築物応急危険度判定士認定講習会
地震による被災建築物の二次災害の危険度を判定する方を養成
時・場：(1)2月20日(火)情報交流センター Big・U(田辺市)
(2)22日(木)県民文化会館(和歌山市)
いずれも13:30～16:30
対：県内在住・在勤の建築士など
定：(1)30人(2)60人 先着順
①②共通
申・問：郵送、FAXで所定の申込書(申込先、WEBサイトで配布)を①2月13日②15日までに県庁建築住宅課 FAX073-428-2038 WEB

かくていしんこく はや
確定申告はお早めに!

平成29年分の所得税および復興特別所得税の確定申告の相談、申告書の受付および納付は2月16日～3月15日です。贈与税は3月15日、個人事業者の消費税・地方消費税は4月2日が期限です。
確定申告にはWEBサイトが便利です。申告書や青色申告決算書などが作成でき、印刷して郵送で提出できます。ぜひご利用ください。
問：税務署、県税事務所、市町村
国税庁

かいし しよくぎょうくんれん
4月開始の職業訓練
こっかしかくとうしゅうとく じゅうこうせい
(国家資格等習得)受講生

国家資格や国家資格の受験資格を習得
科目：①介護福祉科②保育科
③応用情報科④製菓衛生科
場：①和歌山市、広川町
②～④和歌山市
申・問：ハローワーク(申込締切日あり)
※詳しくはWEBサイトを要確認
和歌山労働局 職業訓練

ふおすた～サロン
ほいくし
(保育士サロン)

保育士として再就職を検討されている方の意見交換の場
時：2月15日(木)10:00～11:00
場：和歌山ビッグ愛(和歌山市)
申・問：電話で住所、氏名、電話番号を県福祉人材センターハートワーク ☎073-435-5211
和歌山県社会福祉協議会

ほうそうだいがく にゅうがくせい
放送大学 4月入学生

心理学・福祉・経済など幅広い分野を学べる通信制大学
対：18歳以上 ※教養学部科目履修生・選科履修生は15歳以上
申・問：電話、インターネットで3月1～20日までに放送大学和歌山学習センター ☎073-431-0360
放送大学和歌山学習センター

けんのうりんだいがつこうがくせい
県農林大学校学生

農学部

学科	園芸学科	アグリビジネス学科
募集人員	30人	10人
修業期間	2年	
試験場所	農林大学校(かつらぎ町)	
選考試験	追加入学試験	
願書受付	2月26日～3月12日	
試験日	3月16日	

問：農学部 ☎0736-22-2203
和歌山県農林大学校

じょせい すこ
女性の健やかセミナー

乳がん、婦人科がん、更年期障害に関する講演
時：3月3日(土)14:00～15:30
場：フォルテワジマ(和歌山市)
定：100人 先着順
申・問：電話、FAX、Eメールで住所、氏名、年齢、電話番号、参加人数を3月2日までに県立医大産科・婦人科学講座 ☎073-441-0631 FAX073-445-1161
sanpu1@wakayama-med.ac.jp
和歌山県立医大

けんみん こうかいこうざ がんか
県民のための公開講座(眼科)

テーマ：もっとしりたい、糖尿病網膜症の治療
時：3月3日(土)14:00～16:00
場：県立医大講堂(和歌山市)
定：500人 先着順
問：県立医大病院眼科
☎073-441-0649
和歌山県立医大

さいしん いりょう
最新の医療カンファランス

テーマ：①加齢による皮膚の変化と傷
②からだの痛みと痛み止め
時：3月8日(木)14:00～16:00
場：県立医大図書館棟(和歌山市)
定：100人 先着順
問：県立医大生涯研修センター
☎073-441-0789
和歌山県立医大

かいし しよくぎょうくんれんじゅうこうせい
3・4月開始の職業訓練受講生

就職に有利な専門知識や技能を習得
科目：①溶接加工科②住環境計画科
③電気設備技術科④介護初級科
⑤パソコン基礎科
⑥OAパソコン基礎科
⑦技能習得訓練科
⑧介護訓練科(初級)(障害者対象)
場：①～③⑧和歌山市
④和歌山市、田辺市
⑤有田市、御坊市⑥御坊市⑦田辺市
申・問：ハローワーク(申込締切日あり)
※詳しくはWEBサイトを要確認
和歌山労働局 職業訓練

そう

相談

だん

き がる

お気軽にどうぞ

※弁護士や労働委員会委員による相談は、事前の電話予約で先着順となっています。
詳しくは、各相談窓口へお問い合わせください。

けんみんそうだん

県民相談

こうつう し ぎ そうだん

交通事故相談

☎073-441-2356

☎073-441-2359

常設相談 場所/県庁県民相談室、
県庁交通事故相談所
相談 日時/要問合せ
場所/西牟婁振興局 ☎0739-26-7903
東牟婁振興局 ☎0735-21-9611
弁護士による相談 日時/要問合せ
場所/県庁県民相談室、県庁交通事故
相談所、振興局、海南保健所、串本町
文化センター

じんけんぜんばん どうわもんだいそうだん

人権全般・同和問題相談

☎073-421-7830

常設相談 場所/県人権啓発センター
(和歌山ビッグ愛2階)
※県庁人権局 ☎073-441-2563、振興
局でも実施しています。
弁護士による相談 日時/要問合せ
場所/県人権啓発センター
☎073-435-5420

ろうどうそうだん

労働相談

常設相談 ☎073-436-0735
日時/火・水・木・金曜16:00～20:00
土・日曜10:00～16:00
※面接相談は要予約
場所/労働情報センター
(和歌山市北出島1-5-46)
労働委員会委員による月例労働相談
☎073-441-3781
日時/毎月第1・3水曜
場所/県庁労働委員会室

わかものそうごうそうだん

若者総合相談

☎073-428-0874

☎0736-32-0874

☎0739-24-0874

常設相談 場所/若者サポートステー
ション With You (和歌山・橋本・田辺)
With You 和歌山

ふくし そうだん

福祉サービス相談

☎073-435-5527

常設相談 場所/県福祉サービス運営
適正化委員会(和歌山ビッグ愛7階 県
社会福祉協議会内)

「ジョブカフェわかやま」

しゅうしょくしゅつちようそうだん

就職出張相談

☎073-402-5757

相談 日時/要問合せ(毎月1～2回)
場所/ハローワーク(和歌山・海南を
除く)

ジョブカフェわかやま

こ かてい ひやくとうばん

子どもと家庭の telefon110番

☎073-447-1152

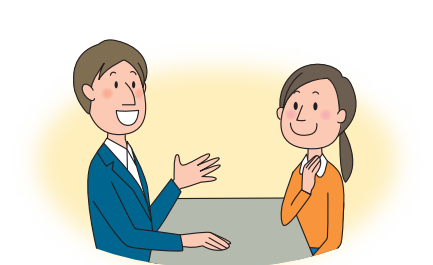
常設相談 日時/毎日24時間

じょせい だんせいそうだん

女性・男性相談

☎073-435-5246

場所/県男女共同参画センター“りいぶる”
(和歌山ビッグ愛9階)
総合相談 電話など(常設、月曜休館)
専門相談 カウンセリング・法律相談
(女性のみ)、男性相談
日時/要問合せ



せいぼうりょくひがいそうだん

性暴力被害相談

☎073-444-0099

常設相談 日時/9:00～21:30
場所/わかやまmine(マイン)

けいさつそうだん

警察相談

☎#9110

常設相談 日時/毎日24時間
ダイヤル回線の場合 ☎073-432-0110

いりようあんぜんそうだん

医療安全相談

☎073-441-2611

常設相談 場所/県庁医務課
日時/平日9:00～12:00、13:00～16:00
※県立保健所総務健康安全課(串本支
所は保健環境課)でも実施しています。
弁護士による相談 日時/要問合せ
場所/県庁医務課

しょうひせいかつそうだん

消費生活相談

常設相談 場所/県消費生活センター
☎073-433-1551 (和歌山ビッグ愛8階)
※土日は電話のみ10:00～16:00
場所/県消費生活センター紀南支所
☎0739-24-0999 (西牟婁振興局内)

がいこくじんそうだん

外国人相談

☎073-435-5241

常設相談 日時/【英語】【中国語】
月～日曜(水曜除く)10:00～17:00
【フィリピン語】
月・木・土曜10:00～16:00
※要予約
場所/県国際交流センター
(和歌山ビッグ愛8階)

もよお

催し

青字施設

は65歳以上、
障害者、高校生以下、外国
人留学生などは入場無料

赤字施設

は入場無料

展

は展示

はイベント

けんりつ きんだい びじゅつかん

県立近代美術館

〒640-8137

和歌山市吹上1-4-14

9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館/月曜(祝日の場合次の平日)

☎073-436-8690

FAX073-436-1337

展 明治150年記念「水彩画家・木下藤次郎」展
2月10日(土)～3月25日(日)
展 コレクション展2018-冬春 特集「はじまりの景色」
～4月15日(日)

けんりつ はくぶつかん

県立博物館

〒640-8137

和歌山市吹上1-4-14

9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館/月曜(祝日の場合次の平日)

☎073-436-8670

FAX073-423-2467

展 企画展「ふるさとからのおくりもの 新収蔵品展」
～3月4日(日)

けんりつ きい ふどき おか

県立紀伊風土記の丘

〒640-8301

和歌山市岩橋1411

9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館/月曜(祝日の場合次の平日)

☎073-471-6123

FAX073-471-6120

展 冬期企画展「うつわに隠された物語ー装飾付須恵器
の世界ー」
～3月4日(日)

かたおなみ こうえんまんようかん

片男波公園万葉館

〒641-0022

和歌山市和歌浦南3-1700

9:00～17:00

(入館は16:30まで)

☎073-446-5553

FAX073-446-5554

体験教室「手芸～なつかしい行楽弁当作り」
2月12日(振休)13:00～15:00
対:小学生以上(小学生は保護者同伴)
定:20人 **先着順**
費・申:1,500円 事前申込
古典学習セミナー
「源氏物語を楽しむ～玉鬘とその周辺の人々(全3回)」
①3月4日②11日③18日いずれも日曜 14:00～15:30
対:小学生以上(小学生は保護者同伴)
定:各20人 **先着順**
費・申:各200円 事前申込

けんりつ としょかん

県立図書館

〒641-0051 和歌山市西高松1-7-38

閲覧室 平日9:00～19:00(土日祝
は18:00まで) 休館/月曜(祝日
の場合次の平日)、毎月第2木曜

☎073-436-9500

FAX073-436-9501

ボランティアによる「おはなし会」
2月17・24日(土)、3月10日(土)14:00～、
3月3日(土)11:00～
エントランスコンサート 3月2日(金)12:00～12:30
定:100人程度 **先着順**

けんりつ しぜん はくぶつかん

県立自然博物館

〒642-0001

海南市船尾370-1

9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館/月曜(祝日の場合次の平日)

☎073-483-1777

FAX073-483-2721

巨大アンモナイトをさがせ!! 3月4日(日)13:00～16:00
場:栖原(湯浅町)
対:小学生以上(小学生は保護者同伴)
定・申:100人 **抽選** 2月18日まで
恐竜をさがせ!! 3月18日(日)10:00～13:00
場:白木海岸(広川町)
対:小学生以上(小学生は保護者同伴)
定・申:100人 **抽選** 3月4日まで

けんしよくぶつこうえんりよつか

県植物公園緑花センター

〒649-6211

岩出市東坂本672

9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館/火曜(祝日の場合次の平日)

☎0736-62-4029

FAX0736-63-2570

2月の花ごよみ
梅・ツバキ・葉ボタン・ビオラ・洋ラン・シクラメン
展 早春の洋ラン展
2月10日(土)～12日(振休)
洋ランの育て方教室
2月11日(祝)13:30～16:00
定:36人 **先着順**
費・申:300円 事前申込
3月の寄せ植え教室
3月11日(日)13:30～15:00
定:40人 **先着順**
費・申:1,800円 事前申込



けんどうぶつ あいご

県動物愛護センター

〒640-1251

紀美野町国木原372

10:00～17:00

休館/火曜

☎073-489-6500

FAX073-489-6504

犬・猫の飼い方講習会及び譲渡会
①2月18日(日)・25日(日)、
3月1日(木)・11日(日)・25日(日)11:00～
②2月9日(金)11:00～③2月22日(木)11:00～
場:①県動物愛護センター②御坊保健所
③新宮保健所串本支所(串本町)
※譲渡を受けるには受講と、犬については狂犬病予防注射代
2,640円が必要です。
※県動物愛護センターでは譲渡会を常時開催しています。
**動物の譲渡・ミルクー一時預かりボランティア募集説
明会**
①3月5日(月)②7日(水)③12日(月)④15日(木)
⑤17日(土)いずれも13:30～14:30
場:①湯浅保健所②西牟婁振興局(田辺市)
③橋本保健所④東牟婁振興局(新宮市)
⑤県動物愛護センター
※申込不要(手話通訳・要約筆記希望者は要予約)



和歌山PRキャラクター きいちゃんのワンダフルわかやま

和歌山のすばらしいモノや地域の自慢などを「きいちゃん」が紹介します！
今回は、「果樹王国」とよばれる和歌山が誇る果物の一部をご紹介します。



温州みかん

生産量日本一のはっさく

和歌山には、たくさんのカンキツ類が栽培されているんだよ。この他にも「なつみかん」「不知火(しらぬい)」、北山村特産の「ジャバラ」などそれぞれ個性あふれる味を楽しめるワン！



清見

日本を代表する香辛料のひとつさんしょうは、生産量日本一！



ぼんかん



キウイフルーツも全国有数の産地。

問 県庁果樹園芸課 ☎073-441-2902 WEB



生産量全国上位の果物も多数！
果樹王国 和歌山

温暖な気候を生かし、さまざまな種類の果物が栽培されている和歌山県はまさに「果樹王国」。種類の豊富さは、全国でもトップクラスで、春夏秋冬いつでも旬のおいしい果物を食べることができます。特に温州みかん、梅、柿の生産量は日本一を誇り、もちろん味・品質は折り紙付きです。

含めると一年中いろんな味わいを楽しめます。梅は全国の生産量の約6割を占め、梅干しをはじめ、梅酒やジュース・シヤムなどに加工されています。中でも南高梅は、大粒で皮は柔らかくて果肉が厚く、梅干しの最高級品です。



あんぽ柿は、とろ〜りとした食感で、柿の甘さが濃縮されてるよ。

みなべ町や田辺市の梅の産地では、3月初旬まで観梅が楽しめるよ。



健康長寿

日本一をめざして 9

健康をめぐる現状の要因を考える

県福祉保健部健康局長 野尻孝子

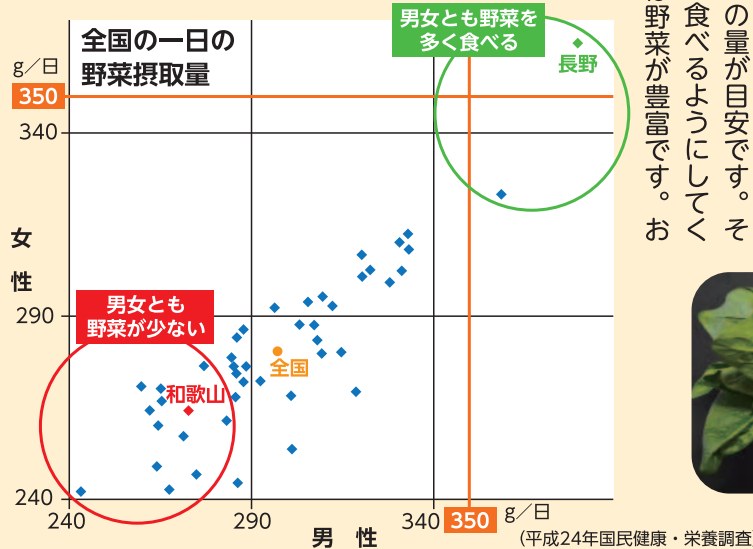


野菜は、胃がんや食道がんの発生を減少し、糖尿病や高血圧の予防効果もあるとされています。本県の一日常たりの野菜摂取量は、男性272g、女性264gです。健康長寿の長野県は、最も野菜摂取量が多く、本県より約100gも多く食べています。

そこで、本県では、「野菜もう一皿運動」を推奨しています。健康によいとされる目標の350gは、両手いっぱい量の目安です。そして、色とりどりの野菜を食べるようにしてください。これからの季節は野菜が豊富です。お鍋にすれば食べやすいかもしれません。



これまでシリーズで、本県と長野県の比較などから健康課題を述べてきました。野菜を多くとること、歩く習慣をつけること、高齢になっても積極的に社会参加すること、そしてがん検診・健康診査を受けて健康管理に努めることなど長野県に見習って「健康長寿日本一」わかやまをめざしましょう！



人権連帯の気づき

お互いが働きやすい職場にするために

問 県庁労働政策課

☎073-441-2790

パワハラ・パワハラメントという言葉をご存知でしょうか。パワハラは、職場での優位な立場を利用したじめ・嫌がらせのことです。上司から部下に対して行われることが多いですが、先輩・後輩の間や同僚の間で、さらには部下から上司に対して行われることもあります。

職場でパワハラの被害にあい、人格を傷つけられた人が、仕事への意欲や自信を失い、心の健康が悪化して休職や退職に至ってしまうことも少なくありません。また、パワハラは、それを見聞きする周囲の人の意欲や作業効率を低下させ、職場全体に悪影響を及ぼします。パワハラのない、誰にとっても働きやすい職場にするためには、まずは一人ひとりがお互いを尊重する意識をもち、同僚とのコミュニケーションを増やすなどして、信頼関係を築いていくことが大切です。

パワハラに関する悩みごとがある人は、まずは職場や公的機関の相談窓口相談するようにしましょう。県では、専門の相談員がアドバイスする労働相談室を設けていますので、お気軽にご相談ください。

☎073-436-0735、火・金16時～20時、土・日10時～16時

広告

広告

広報課からのお知らせ



テレビ

テレビ和歌山 WTV

きのくに21 日曜 9:30・(再) 18:30

2月 4日 広げよう、命のボランティア

2月11日 知事と語る

2月18日 クラウドファンディングで全国発信!

2月25日 知事と語る

県民チャンネル

月・火・木・金・土曜 21:55

マンスリー県政 ニュースワイド

毎月最終金曜19:29～19:58



ラジオ

和歌山放送 WBS

県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00

※土・日曜は再放送がありません。

ラジオでお届け!県政最前線 火曜 15:40～16:00

放送内容・時間は都合で変更する場合があります。

第17回 和歌山県 市町村対抗ジュニア駅伝競走大会

交通規制のお知らせ

2月18日(日)
11:00～

紀三井寺公園スタート

当日10:45頃～
12:50頃まで、区
間ごとに交通規
制を行いますの
でご協力をお願
いします。

各市町村代表の小・中学生が
和歌山市内(紀三井寺公園～
和歌山マリーナシティ～和歌
浦～雑賀崎～県庁)の21.1km
(10区間)を駆け抜けます。
ご声援よろしくお願いします。

問:県教育庁スポーツ課

WEB

通行禁止 通行規制 通行可能 車線規制あり



知事メッセージ

県民の皆様へ

めでたし、ロンリープラネット。 ベスト・イン・トラベル2018 第5位に紀伊半島



昨年10月24日、世界的旅行ガイドブック「ロンリープラネット」が世界中で最も旬な旅行先を紹介する「Best in Travel 2018」において、紀伊半島がベスト5に選出されました。

毎年世界の有力な地域が10カ所、順位を付けて発表されます。和歌山県ではこのところ、外国人観光客の来県がどんどん増え、2016年には50万人を超えました。そのような中での選出なので、まさに時宜を得た快挙だと思います。

和歌山は昔からの観光地で、自然、歴史文化、食べ物、温泉、パンダ、たまちゃん、レジャー・スポーツなどいずれをとっても観光資源がいっぱいあって、あそこへ行きたい、ここへ行きたい、といったものがいっぱいあります。

しかし、しばらく前までは、高速道路の不備その他で、段々と相対的に不便な地となってきたのに、新しいサービスや外国人その他新しい客層の開拓や積極的なプロモーションには中々手を出してこなかったきらいがあり、花形のはずの観光業も少々苦境の時代が続きました。

これではいかんと、和歌山県庁では、いろいろな仕掛けを作って再躍進のために努力を始めているわけです。特にプロモーションには大いに尽力しました。その相手はその国の旅行エージェント、経済団体、マスコミ、業界情報メディア、インターネット業者などですが、最近和歌山県が養成した語学能力を有する多数の職員をはじめ、和歌山県の観光当局の職員は、世界中でこのような営業活動を誠に熱心にやってくれています。業界の方々にも眼の色を変えて積極的に打って出て下さっている人がいます。こういう地道な努力と彼らの能力と勝ち得た信頼感が、今回のような成果に結びついたものと思います。

しかしながら、和歌山県の観光、特に国際観光は緒についたばかり。その潜在的観光資源に比してまだまだ発展の余地があります。一時の成果に酔っている余裕はありません。自転車はこぐのをやめると倒れてしまいます。和歌山県庁は皆で全力でペダルをこぎ続けるしかありません。

和歌山県知事 仁坂 吉伸

【広告】 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032